



授業サポート報告書

実施日：10月27日(火)2時限目(10:40~12:10)

授業科目：法社会学(担当教員：吉岡すずか)

「法社会学」の授業は、法学部の専門科目で、日常的にある「紛争」と法との関係、紛争の解決制度や法的支援などについて学び、法社会的な視点(法内在的な法律家としてではなく、外在的観察者としての視点で司法制度をみる見方)を身につけることを目的としています。

当日の授業はZoomを利用したオンライン実施となり、ピアサポーター4名(授業サポート担当3名、取材担当1名)、が自宅や学内から参加しました。

Zoomのブレイクアウトセッションを利用し、約40名の受講者が自動的に8グループに分かれ、事前課題で自分が調べたことや考えたことを共有し、意見をまとめるグループワークを行いました。

<事前課題>

1. 現在、自分が住んでいる場所(実家、下宿等)から最も近い距離にある法律事務所がどこなのかを調べ、わかる範囲でその情報につきメモを取る。
2. あなたは、約6ヶ月分のアルバイト代相当のトラブルにあい、ひどく困っており、弁護士に処理をお願いすることに決めました。急いで法律事務所にアクセスして相談する必要があります。さて、上記1の最寄りの法律事務所にしますか。それとも、テレビ・インターネット・電車広告等で宣伝され名前を知っている法律事務所にしますか。必ずどちらかを決めてください(2択のみ)。また、その理由を箇条書き等で整理しておいてください。

ピアサポーターは担当グループを周回し、ファシリテーションに入ることがメイン業務となりました。グループによってディスカッションの進み具合に差がありましたが、ピアサポーターが吉岡先生と連絡を取り合いながらサポートにあたることで、受講者の発言も活発になり、スムーズなグループワークを促すことができました。

今回は、法学部の授業に、他学部のピアサポーター(文芸学部3年生2名、社会イノベーション学部4年生1名)がサポートに入りましたが、吉岡先生には業務のポイントをまとめていただいたり、サポートが円滑に進むように授業の進め方を検討していただいたり、ピアサポーターにご配慮・ご尽力いただいたことで、学部の壁を越えてサポートにあたることができました。

教員・職員・学生三者による事前打ち合わせも、Zoom、WebClass等オンラインツールを利用し綿密に行いました。教員のニーズに応えるため、ピアサポーターからは教員に学生目線での提案を行ったり、職員からはオンラインツールのガイドブックを作成・提示したりと、相互に協力し合う「教・職・学協働」の取り組みとなっています。

吉岡先生からはブレイクアウトセッションの各グループにおいて、ピアサポーターが気付いた点を後ほど報告してほしい、との課題をいただいていた。後日ピアサポーターと担当職員とで授業サポートで気付いた事意見交換会を行い、話し合いをまとめた結果を吉岡先生へ報告しましたが、オンラインならではの悩みとも言える、グループワークにおいて教員が把握しきれない部分をピアサポーターの力によって補う事もできたのではないかと思います。

今回の取材で、遠隔授業を運営する先生の苦勞の大きさや、中でも工夫を凝らしている努力を肌で感じる事ができました。コロナ禍においてはもちろん、長期的に考えても、求められる授業サポートは日々変化していくと考えております。今後も教員・職員・学生で協力し、大学全体の授業運営を向上する一助となるよう取り組んでいきたいと思っております。

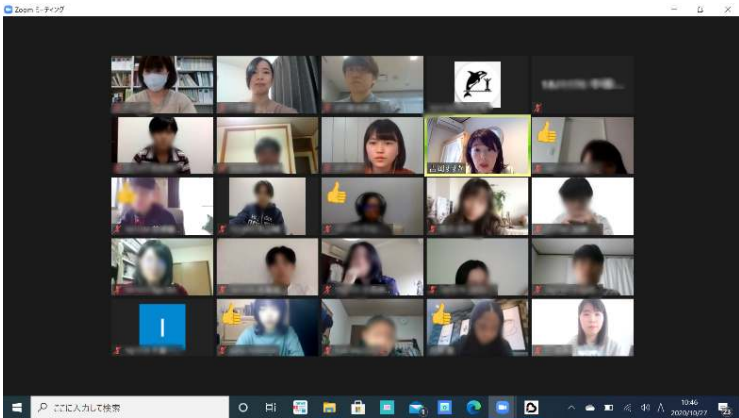
当日の様子



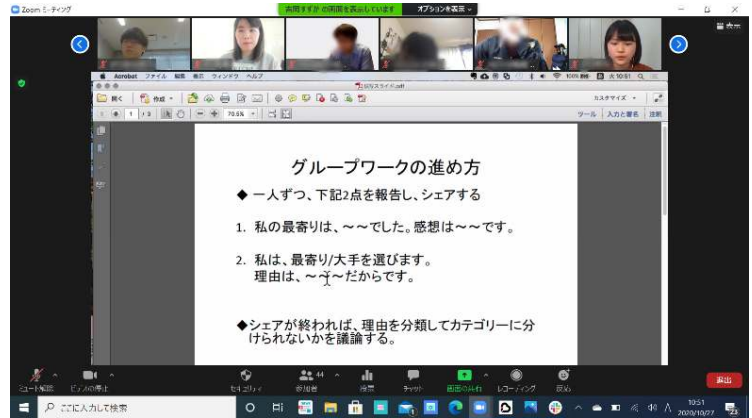
本番前の最終確認。授業の直前にも先生と打合せを行いました
(画面右下は吉岡すずか先生)



貴重なオンラインサポートの舞台裏！前後の時間に対面授業のあるピアサポーターは、学内で授業サポートにあたりました



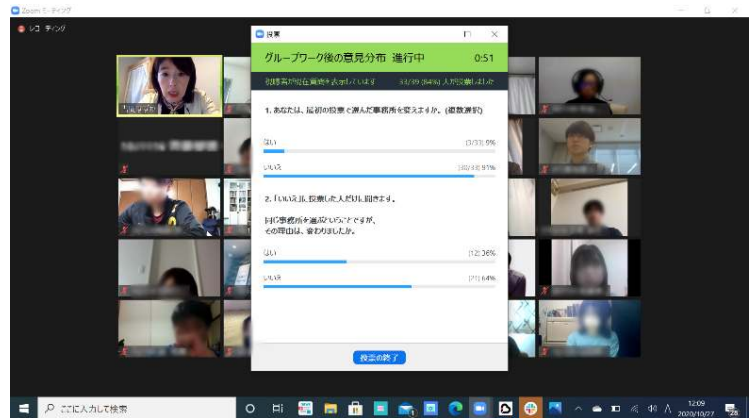
イントロダクションにて先生から紹介いただきサポートスタート！



グループワークの指示を受講生と一緒に聞きます



受講生が真剣に話し合う中、ワークがスムーズに進むようファシリテーションを行います。うまく進んだグループはチームワークも生まれ、笑顔あふれる雰囲気



先生は「Zoom」の投票機能を活用し、授業を受ける前と後での意見の変化をオンタイムで視覚化し、分かりやすく提示されていました